夕刊 磐城新聞
二月十三日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢(郵稅拾五錢)
廣告料金 普通欄 金六拾錢 特別欄 金九拾錢(五號十二字詰一行一回 場所指定一行一割增)
編輯兼發行人 柏木哲 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社 電信略號(タイライワキ) 平局私書函第十二號 電話五六四番
(日曜祭日翌日休刊)

舊き世界を顧る

赤井嶽男

(八)

先生の死(大正一一、五、一六)

今朝例の通り出勤して編輯の自席で各新聞を獵つてゐると營業部の硝子戸が明く音がして同時に

『死亡廣告を一つ……』

と云ふ聲がした。

未だ時間が早くて誰も出て居ないので自分は畑違ひ乍ら自室に入つて貰つて其人に會つた。

其の人の示した原稿の紙片は鉛筆の走り書きなので間違へてはならぬと思つた自分は其の人に讀んで貰つて原稿紙へ書き取る事にした。

その人は

……TW儀と……

讀んだ。自分はハッと思つたがマサカ鼠坂の先生とは思はれぬので默つて終ひ迄書き取つた。

濟んでから『鼠坂の先生ぢやないんでせう……』と自分は萬一と思つて其の人に尋ねた處が萬の中の一が乃ち不幸にも鼠坂の先生であつたので事實とも思はれぬ意外の訃報に自分は半ば夢心地になつた。

『惡性の腫物なんです、一週間許り休んだ丈けでしたが……』

事の意外は其の人も記者と同感らしく見えた。

自分はつい先達內閣改造中止の新聞電報が入つた折これを知らせやうと特に先生に電話をかけた處が先生は早速電話口に出て記者の好意を謝した事を想ひ出した、更に先月十日の招魂祭當日公園のH屋で一盞の獻酢を試みた事を憶ひ浮べ其の錆びた併し底力のある樣な聲や鶴のやうな痩軀の軍服姿などが眼前に髣髴するを感せずには居られなかつた、更に記憶は大正七年の夏に遡つて其の頃胡摩澤なる○國民氏の家で同氏の長男子が亡くなつた時語り合つた事などが懷ひ出された

其の時語り合つた○國民子は一昨年總選擧の折突如として鬼籍に入りW先生また溘焉として幽明境を異にするに至つた。

逝く者水の如し晝夜舍かず……。

吁々之等の人はドン／＼玉碎して却て人口增加で食糧問題の解決に一段の煩瑣を加ふる如き自分等が事無く所謂瓦全の生活を送つてゐる。

玉碎瓦全果して是乎非乎

吁々先生は覺に死んだ。(後略)

高月集

若菜

雪もよひ戸口に呼ばるわかな賣 良亭
喫物の箸にかかりぬわかなかな 同
箸つけて春の香うれしわかなかな 同
わかなうつ香ゆかしきそ上かな 霧笛
山畑の雪間にみゆるわかなかな 曉美
背戸の畑わかなにつづく麥の寸 同
大霜や瀬戸のわかなの萎えて居り 同
みゆる家歩けば遠きわかな道 紅果
藁ぼちの裾のほぐれやわかなもゆ 同
わかな道晴れたる空に草の笛 同
溫みたる土の香りやわかな摘 秀峰
わかな籠袖長き子も交りけり 同
京人續く長堤十里わかなかな 同
朝日さすうまやにほふわかなかな 鐘樓
溫泉に氷のわかな洗ひけり 胡生
畑隅の底ぬけ桶やわかなもゆ 同

時代警語

○十人十色……(俚諺)

泰山一まつのくも、仔細に點檢すれば花々その態を異にしてゐる。哲學者の叫んで個別の理と云ひ獨立の素とするもの之を人にみる人々その面貌姿態を異にし個々其の性情を同くせずして甲の好む處必ずしも乙の好む所で無く丙の易しとする所必ずしも丁の易しとする所で無い…

社會の今日

2月14日

△平將門誅に服す(天慶三)△希臘國立銀行を創設す(一八二八)△南房州一帶要塞地帶に編入さる(昭和五)△全日本婦選大會開會△スペインのベレンゲル內閣總辭職(昭和六)

○

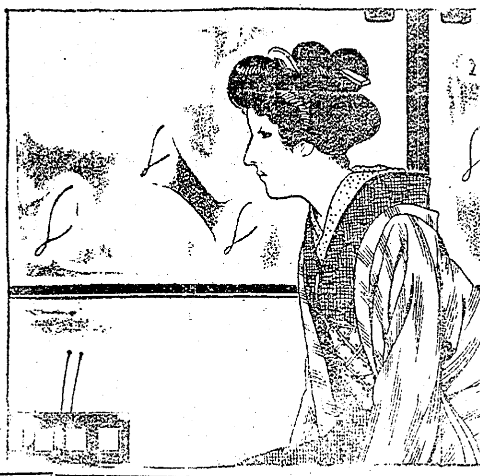
梅咲くや北野の小屋の大神樂 紅雨

講談 俠艶 女長兵衛

東京 斯波南叟
(魚崎潮畫)

(一三三)

どうも男といふ奴は……讀者諸君の事を云ふのでは有りませんが兎角助平根性のあるものが多い、所謂裾つ張と云ふので、少し拜める女と見れば、何とか渡りを付けて見たくなる……勘十郎もこの女を何う仕様と云ふのでは無かつたが意外の美人だつたから、變な氣が起きて來ました、處へ政江は兩眼に涙を浮べて政『世の中に手前ほど不幸なものは在りません、旦那樣何うかお察し成さつて下さいまし、夫が長の煩ひで遂に亡くなりますと跡は最う邪魔物扱ひ、出て行けがしの親類共の振舞ひ、水野の叔父は彼アした氣性のもので在りますから、女子供は相手にせず毎日針の莚に身を置かれたやうなもので、立つ瀬がございません、日那樣が大層御親切なお方樣と、平素から伺つて居りますゝ、どうか此の身の後楯となつて、萬事の差圖をして頂き度く、其お願ひの爲厚釜しくも斯くおして出ましたのでございます、助けると思つて旦那樣……』と耐へず勘十郎の膝の前に泣伏した、勘十郎恍惚として政江の有樣を眺めて居たが、理非と云ふ分別もなく、好い女が泣いて賴むといふ、上邊のことに迂ッかり乘り勘『イヤ相判つた、水野を始め我々の白柄組は、弱きを扶け强きを挫くが本旨だ其許の身の上は斯く云ふ勘十郎が一切引受けた、安心して相談があつたら何時でも出て來るが好い、又水野にも能く話して』政『お助け下さいます思召ならば、斯うした事は叔父にはご內聞に願ひ度う存じます、手前が再三叔父の耳に入れたやうなもの丶、旦那樣から手前のことをお話し下さると、親類のものを輕く見た樣に考へられぬとも限りませぬ、旦那樣の御一存を以て何分共に……』勘『成程お前の立場から見れば夫れも然うだ、よし／＼引受けて遣る』政『就きましては飯岡右膳のことでありますが、今日旦那樣とご相談の上暇を取ると申して居ります今暫くの間は我慢するやうにとのお言葉を頂き度う存じますが』勘『最もの事だ予が申聞かせる』其日は夫れで引取つたが、菅沼勘十郎に下心ありと見て取つた政江と右膳は、しめし合せて其以後は毎日の樣に政江を飾り立て丶、菅沼の屋敷へ入込む、無論色仕掛で勘十郎を手のうちに丸め、アヮ能くば勘十郎のご新造の無いのを幸ひ、乘込んでご新造にして貰はう、右膳は又死んでも忘れぬほど、遺恨重なる女長兵衛を菅沼の手に依つて打たせ樣……何うも惡い連中はいろ／＼な企てを致します 右『どうだねご新造、菅沼のご前は大丈夫手に入るだらうか、多田の野郎を引つ掛けたやうに、際どい所で背負ひ投を喰つては、實も蓋もない譯だがね』政『お前が眼を潰つて居るのだから、今度は何處までも仕上げますよ、又水野ダガ波之助を菅沼の養子に入れ、五百石は何うでも取れる樣にするのだから、急いでは仕方がない、途中でお前が變心して彼是れ云ふやうでは困るがね』右『夫りやあ何も云ふところは無い、此方にも少し大望がある、若旦那が菅沼の養子手前の大望が叶ふ、然うなつた上は又手段があるのだから、必ず馬鹿になつて居る精々腕によりをかけてやつて下さい』斯んな相談が出來て居るのだから、政江は憚るところがありません、毎日出て行くうちに遂に勘十郎の酒の相手をするやうになつた、酒は男女の中を亂す基いでございます、勘『今日は眞逆其許が來て居るとは思はなかつた、お役向の用が殘つて大きに遲くなつた、ヤア酒の仕度までさして置いて下さつたか、我々の仲間の奴等は女はむさくるしくていかん杯と云ふが、御番が終へて歸つて來た、酒の仕度をして待つてゐる、是れは格別の氣持ちだ』と次第に勘十郎のるくなる。



ラヂオ

仙臺 JOHK
…十四日—(日曜)…

△前九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇A 榮養料理(鮪の照燒…主料理 三ッ葉の胡麻よごし…副料理) 榮養研究所
△九、三〇A (子供の時間)歌ピッコロオーボエフルート JOAK唱歌隊 小林守三郎 吉田長次郎
△一〇、三〇H 宗敎講座(人間としての釋尊) 曹洞宗大本山總持寺西堂栗山泰音
△一〇、四〇A 中部支那事情特別講座(漢口上流に於ける各開港場と日本) 田中莊太郎
△一一、一〇A 謠曲講座(謠の道しるべ) 實演…喜多六平太、解說…池內信嘉
△正午A 時報 氣象通報 今日午後の番組豫告 告知事項
△後〇、三〇A ニュース
△〇、五〇B ハープ獨奏とバリトン獨唱 雨田禎之 小森讓
△一、一五A 脚本朗讀(曾我綉俠御所染)河竹默阿彌作 演藝通話會
△一、五〇A 常磐津(兩顏月姿繪)常磐津若太夫、仲佐太夫、仲男太夫
△二、二〇 四、〇〇B 運動競技(東西對抗ラグビー試合狀況)
△三、四〇A 氣象通報
△四、〇〇A ニュース
△六、〇〇A (子供の時間)童話劇(小楠公) 東京放送童話劇協會
△六、三〇A 中部支那事情特別講座(上海を中心とせる企業に就て) 中日實業株式會社副社長高木陸郎
△七、〇〇A 放送舞臺劇(梅川忠兵衛戀飛脚…新町井筒屋の場)中村雁次郎外
△八、三〇A 管絃樂 東京ラヂオーケストラ
△九、〇〇A チエロとピアノ コンスタンチン・シャピロ リヂア・シャピロ
△九、三〇A 時報
△九、三〇C 奉天より(古賀聯隊と光輝ある軍旗)森下騎兵少尉
△九、四〇A ニュース 氣象通報 番組豫告 積雪量

夜間診療
胃腸 內科 十二指腸蟲病 專門 內科部
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院
(平南町電話一〇一七番)

そめ丼 金參拾錢
大衆向うな丼 金參拾五錢
特上丼 金五拾錢
蒲燒(一人前) 金五十錢
右弊店特々の勉强振り御試食の程を御願申上升
江戸川うなぎ食堂
平館前通り 電話六七七番

吉田眼科病院
平町紺屋町

名篇出て日本映畫界の輿論沸騰……御期待久しき豪華篇遂に來る

十四日より堂々公開
新興キネマ社提供
阪東妻三郎、鈴木澄子…主演
風雲長門城 全十一卷

(高杉普作…ごさ…藝妓おうめの…ヌレ場面)

配役
高杉晋作…阪東妻三郎
赤根武人…浪野光夫
久坂玄瑞…阪田壽一郎
角倉一幸…永江勇吉
伊藤俊輔…佐賀精一
品川彌二郎…岩井扇之助
入江一九…藤井昇
藝妓おうめ…鈴木澄子
周布政之助…兒島三郎
箱山直助…中林翠之助
栗島帶刀…堀川浪之助
井上謙多…岡田喜久也
毛利世子公元徳…梅若禮三郎
三島大助…坂本要二郎
砂田甚十郎…光見柳水

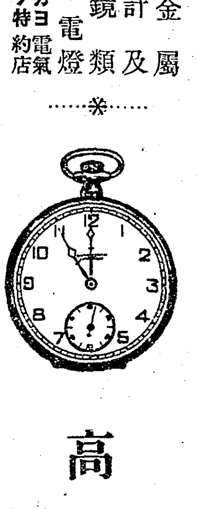
東亞キネマ時代劇部力作品
風雲青葉城 全十卷
羅門光三郎、歌川絹江…主演

東亞キネマ現代劇部作品!
就職戰線 全八卷
隼秀人、鈴村京子…主演

破格料金 大人二十錢 中等生十錢 小人五錢

東亞帝キネ 高級洋畫自由撰定 常設 世界館

貴金屬 時計及眼鏡類 懷中電燈 キミガヨ電氣ランプ特約店
◙◙良い品を安く買ふのは買物上手 品物がタシカで、安い勉强の店
……※……



度量衡。計量器。吸入用酸素。酸素吸入器。
關內藥局 電話四〇番

お醬油は……ヤマフル
鹽屋 山崎合名會社 福島縣平町 電話(營業部一〇番 本店二七番)
味噌 醬油 たびら正宗 鰹節 食料品
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

1932年電氣及びラヂオ界の最前線に立ちて
開店披露の爲古山電氣商會の一大飛躍
……電氣及びラヂオの事なら何んでも御相談下さい……

開店披露
◎何とスマートな近代美!
◎何と低廉な此の價格!
▼今年の文化娛樂は當店の肉聲百パーセント高級セットから
▼此の際是非電池不用エリミネーター式受信機に改良致しませう。
エリミネーター式受信機 何れも最高級品 四球式…三〇、〇〇圓 五球式…四二、〇〇圓
△其の他修理實費▽
◙モートル修理安價に御相談致します。
▼衞生……經濟……理想的な電氣器具を以て御家庭萬端OK!!!
□其他電氣用器具一式大廉賣
平町田町十九(藤田女學校際)
古山電氣商會

高橋時計店
精幸堂號
平町才槌小路 電話(呼)六三二番

外科 產科。婦人科
內臟外科 整形外科 外科一般 醫學士 松永憲一
院長 木村寅次郎
平新川町十九 木村病院 電話一六四番

耳、鼻、咽喉科 氣、管食道科 專門
平町南町 (電一〇七番)
大和田醫院 大和田那司
(自炊の便あり)

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物
㊅ 釜屋商店
磐城國平町五丁目 電話九番 九九番 振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は㊅の生命なり

耳鼻、咽喉科、氣管、食道科、專門
平町南町 (元眞木辯護士跡)
增田耳鼻咽喉科醫院 電話四八二番
(入院隨意)

鈴木候補の應援に 堀切次官來平

來る十八日平、内郷の演說會に 財政問題で一大獅子吼

泣いても笑つても後六日に押し迫つて來た石城地方の政戰は僅か四萬足らずの有權者を中心に政友鈴木、民政比佐候補の外、相、双を地盤の氏家、佐藤二候補が割込みをなして散票掻き集め爲めに猛運動を開始した爲俄然政戰は異狀を呈するに至つた、殊に初陣である鈴木候補は腹背から比佐、佐藤等の强敵に挾撃されつゝあるので形勢は一變し昨今の情勢は極めて樂觀をゆるさざる狀態となつた、これが爲幹部一同頗る緊張しこの形勢を逆轉すべく切緻な作戰をめぐらしておるも依然困難な立場に置かれてある爲目下第一區から出馬して居る大藏省政務次官堀切善兵衛氏は鈴木を落すなと來る十八日の平、内郷二個所に於ける演說會で一大獅々吼を試みる事となつた

赤井林野保護組合 内部の統制を缺く

憂慮さるる今後の推移

赤井村大字赤井林野保護組合は現在百九十餘名の組合員を有するが組合員中には永住に因つて自然利權を獲得したものの外昭和元年組合創立當時一ヶ年一戸平均十圓內外の配當あるべしとした有利な條件に動かされ二十圓乃至百圓の加入金を支出して之れに加入した向少からざるに對し組合では年々日立電力其他より受くる電柱敷地及新開墾地貸付料其他の收益あるに拘らず殆ど無配を續け最近では決算報告すら怠つてゐるので之れに慊焉たる組合員は此程代議員を立て內部の廓正に就て劃策する處あつたが如何なる事情か近來に至り初めの意氣込み無く殊に昨年十一月組合の利益分配金を基本として設立計劃された平町に繭市場の件も未だ何等の目鼻がつかず延いては開墾者百三十餘名の開墾料不納となり彼此內部に面白からぬ氣分が漂ひ今後の推移を憂慮されてゐる

任期滿了した 大平勿來町長

來月早々後任町會召集 再選は一寸困難だらう

石城郡勿來町々長大平曉四郎氏は十二日をもつて任期滿了したが同町では過般來より町議有志會を開いて屢々後任町長に就き協議をなしたるも改選派と留任派とに別れて決定を見なかつた爲近く最後の協議會を開いて決定し總選擧終了後に町會を召集正式に決定を見る筈だが町會は來月早々で大平氏の再選は困難と見られてゐる

組頭代理表彰

小名濱町消防組頭代理長瀨要氏はこの程家事都合で退職したが氏は多年消防事業へ盡したゝめ十一日知事から火鉢一個を贈られて表彰された

山田出身の 安島上等兵

廿二日村葬を執行

ハルビンの進擊で名譽の戰死をとげた山田村出身の若松聯隊上等兵安島喜一君の遺骨は二十日留守隊に到着するが村では二十二日村葬を執行する

三月六日を 『母の日』に

平婦人團体の計畫

平町では三月六日の地久節をトし婦人の向上家庭敎育の振興を圖るため母の日を設定し婦人團体及女子青年團、女學生其他敎化機關で一層之が旨趣の普及並に施設をなすべく目下寄々計劃中である

醬油屋さん 悲鳴をあぐ

原料が高くなり

郡下醬油釀造業者は金輸出再禁止後の醬油の値上げが一樽三十錢程度で僅か七分に過ぎないに反しその原料たる小麥、大豆其他は三割以上も騰貴し到底採算とれないので悲鳴を上げ同業者等は對策を寄々熟議中である

月例礦長會議

小炭礦送炭制限協議 十六日住吉屋本店で

常磐炭礦聯合會礦長會の例會は來る十六日午後四時から平町住吉屋本店に開會加入外炭礦の送炭制限を中心に附議するが右は一昨年來實施した聯合會の出炭制限が稍もすると群小炭礦の濫賣に依つて調節の目的を妨げられるので今後同方面とも連絡を圖り炭價維持に當らんとするものであつて加入外炭礦では是が結果に相當注目を拂つてゐる

チャンコロ秘話（一）

在南滿 HK生

今宵楚絹姑娘優待顧客
減收花粉賓兩角

これを見て、漢詩か對聯の文句ではないかと早合點をしてはこまる。

これこそ世界的不景氣が生んだ、昨今の支那遊廓、特賣デーの看板である。

今夜、楚絹嬢がお客さんを二十錢の遊興費で優待するといふ、大割引の廣告で妓樓の表に肉屋やマンヂュウ屋の賣り出し同然、でかでかの大きな字で、紅い紙に認めて貼り出してあると春を僅か二十錢で賣ります特遊デー、大勉强大安賣の時である。

楚絹嬢が三十を越した中婆さんであらうとも、裸體になつてヒナびた肌に色のさめた俺の子腹掛をかけてゐようとも、ナンキン蟲に喰れた跡を腕といはずボリ〳〵とひつ搔いてゐようとも里心ついた彼氏を二十錢の手續手管で、誘惑をこゝろみる所は彼女氏がさすがに女であることを思はせる。

一寸した妓樓になると、高梁殼かアンペラの張つた垣根につぶれた平家建の一間か二間、妓も多くて二人少いのは一人で、母親と娘が女郎で、亭主が妓夫兼樓主といふのもあつて、徹底的な一家總動員は物凄いよりは薄氣味惡いものだ。

巡り來る試驗地獄!!!

磐中は考查の準備を急ぐ 明日郡下各校に心得書配布

＝今年度の募集は二百五十名で 入學願書締切りは三月十五日＝

磐城中學校では今年度の入學試驗の考查に關して目下準備を進めておるが明十四日は郡內約五十校に對して左の如き入學志願者心得を送附する、尙ほ今年度募集人員は第一學年二百五十名第二學年補欠若干名で前年度と大差なく願書締切りは三月十五日迄である、因に心得の內容は

第一學年入學志願者は考查前日の三月二十六日に磐中に出頭して

1、尋常第五學年よりの志願者入學資格檢定考查並に第二學年補欠入學考查は每日午前八時半登校して、二十四日(筆答試問)二十五日(口頭試問体格檢查)を行ひ

2、第一學年入學考查は、二十七日(試問)、二十八日(試問)、二十九日(試問体格檢查)で

考查方法は

1、入學資格檢定考查(尋常小學校第六年修了程度にて試問を行ふ)

2、第一學年入學考查(尋常小學校卒業程度にて試問並に体格檢查を行ふ)

3、第二學年補欠考查(中學校第一學年修了の程度に於て試問並に体格檢查を行ふ)とし

合格者發表豫定期日

入學資格檢定考查合格者は凡そ二十六日正午にて右合格者は第一學年の入學考查を受くべく又第二學年補欠入學考查同凡そ二十六日正午の發表となり最後に第一學年入學考查發表凡そ三十一日正午となる見込みである

押へた 道具の行方

縣では結局買上るか

不況の深刻化に伴ひ各種稅金の滯納には各方面共手を燒いてゐるが最近は差押へた物件を公賣に附しても買手が無いので縣稅方面では結局は國稅徵收法に依り之等のガラクタ道具を縣で買上げる外はあるまいと悲觀してゐる

各地情痴 ニユース

△今樣時次郎轉落　兵庫縣淡路岩屋町漁師山下菊助(三二)は同町吉野きん(一九)を慕ふて深夜寒風も厭はず電柱から忍び込む最中屋根に乾してあつた大根がすべつた爲アワヤといふ間に割木の上に墜落人事不省に陷つたもの音に駈付けた附近の者が手當を加へた、二人は豫て甘い戀に陷つてゐる間柄である

△バレた肉慾生活　名古屋市中區東効町通り三丁目に居住する平野由太郎(三二)は同市大黑小路のカフエーみその女給順子こと成田ゆき(二二)カフエーキリン女給ゆり子(三二)外一名を妾として豪奢な生活をしてゐるので不審を抱き取調べると名古屋、岐阜、大垣其他で失業者を餌に詐欺を常習としてゐる事判明した

△姦夫斬同情さる　既報京都府綴喜郡都々城村小下津辻本定信(四五)は妻を他人に奪はれた爲その姦夫を斬つたが京都地方裁判所河沼裁判長から公判を開廷されたが犯罪の動機に甚だ同情すべきものあり被告の性も亦頗る善であるから二度とかゝる罪は犯すまいとて懲役二年三年間執行猶豫の判決があつた

△情痴の兇四人殺　神奈川縣小田原新玉町齒科醫松村忠(四二)は萬年町二番地善正寺內朝茂(六八)方に日本刀を持つてあばれ込み同人の娘初江(二四)次男豐(九)長女たつ子(一四)を何れも殺害した原因は忠と初江は豫て人目を忍ぶ仲であつたが最近急につれなくなつた爲だと

△函館の凌辱未遂　函館市辨天町二番地武次男昭平丸火夫長宮本武勇(三五)は近隣の友人方でしたゝか酒を飮み旅籠町八六大山善吉方に赴き主人の不在を奇貨として妻つる(三〇)に對し暴力を以てけしからぬ振舞をなしたが果さず所轄署へ未遂として檢擧された右武勇は豫てから前記つるに懸想して常に言ひよつてゐたと

入學志願者 磐女が多い

三小學校の志願別

平町の各小學校に於ける中等校受驗者を擧げれば左の如し

第一校七六(中學)、四二(商業)、△第二校一〇一(女學校)、△第三校一一(中學)、四(商業)、一二(女學校)

愛兒の病にも 施す術がなく

平町役場に救護の願ひ 淚をそゝる哀れな話

政變あつて以來景氣は好轉したとは謂ひ深刻な生活難は容易に挽回さるゝ術もなく平町に於ける貧困者又は勞働者に依然として飢餓線上に喘ぎつゝ血の滲む樣な悲慘な生活を送つて居り此の悲慘事を見るに見兼ねて隣人から町役場並に平署に救濟方を願ひ出るものは每日平均三、四件に達して居るが本日も亦次の如き哀話が平町役場に持ち込まれた平町長橋町五一古物行商從淺吉(三六)は目下妊娠八ヶ月の妻ラク(三三)外幼兒六名を抱へ其日暮しの生活苦から家財道具を悉く入質し現在では古戶棚一個と僅かな炊事道具を殘すのみで收入は殆んど無く糊口に窮してゐる折柄此程二男幸雄(七)が耳下線炎で死亡し醫師の醫療代も滯つて居る折また〳〵不幸は續いて二女花子(三)がヂフテリアと決定したが醫療の途なく途方に暮れて悲嘆の淚を愛兒に注いでゐたが遂に思案に餘つて平町役場へ救濟方を願ひ出た

昨年中の死傷 百十九名に及ぶ

僅かに平署管內だけで

平署管內に於ける昨年中の變死傷檢視狀態を觀ると變死男五十四名、女九名、傷害男四十六名、女十名に達しておるがこれが原因別によると左の如く變死は瓦斯、落磐、火傷、溺死が多く傷害は自動車事故に因るものが斷然一位を占めてあまり有難くないが縣下一である

種別	變死 男	變死 女	傷害 男	傷害 女
難船	一			
潰屋	一	一		
瓦斯	五			
炭車	二	二		
汽車	二	一	一	
自動車	四		二六	一〇
火傷	二	二		
溺死	九	三		
墜落	二		一	
感電	二			
火災消防				二
武道練習				四
自轉車				九
落磐	一五			一

飯田敎諭赴任

磐中飯田敎諭は明十四日午前十一時十八分で樺太大泊中學校へ赴任するので職員生徒の多數見送ある筈

立候補屆數

（本日午後二時現在）

政友	三六一
民政	二七九
無產	二九
其他	五〇
計	七一九

第一校の展覽會

平第一小學校では來十四、五の兩日午前十時から四時迄兒童の圖書、習字、手工展覽會を催す

ヂフテリア發生

平町南町二三鈴木方高田シヅ(四)は昨十二日ヂフテリアと決定隔離された

山崎敎諭逝去

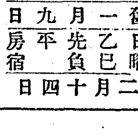
昨夜午後八時

磐城高女敎諭山崎忠二氏は過般木村病院に入院病氣療養中であつたが藥石効なく遂に昨十二日午後八時逝去した、氏は享年三十三歲で非常に悼まれておる

平町慶弔錄

△出生　平町材木町一栃木縣芳賀郡南高根澤村上稲毛田三六矢田粂三郎四女トシ　南町五一相馬郡石神村大原町後九四水谷登三女ヤイ子

▲死亡　材木町一矢口トシ(一)



舊曆 一月 九日 ／ 日曜 乙巳 先負 平 房宿 ／ 二月十四日

諸判定應需　東京市本鄉區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神誠館

▲一白の人　心に叶はぬ意けん出づるとも之に從ふが安全▲二黑の人　勇往邁進して利益多大なる日　但怪我に注意▲三碧の人　萬事成功のみこみなき日心靜かに本業を守れ▲四綠の人　收支償はざる日　無益の事は止むるに如かず▲五黃の人　舊態を守りて新規の事に手を出すべからず▲六白の人　小人の言を妄信するときは不測の災を招く▲七赤の人　人一倍の努力を惜まざれば成功近きにあり▲八白の人　溫情は人の爲めならず己に復りて幸と成る▲九紫の人　身の分限を忘れず差控へるが安全病災注意

推薦

立憲政友會公認候補者 鈴木辰三郎君

此度の選擧に際し鈴木辰三郎氏を推薦せんとするは啻に同氏が本郡に於ける我が黨唯一の公認候補者たるのみならず更に他の理由の存するものに有之候

御承知の通り同氏は夏井村の農家に生れ獨學自修研鑽怠らず年齒僅か二十代にして郡會議員に擧げられ更に縣會議員に當選する事數次今や縣政を統帥する名幹事長として其の才幹は吾人の等しく認識する處にして同氏の聲望旭日昇天の槪あるは如何に同氏の手腕力量が尋常一樣の器に非る事を雄辯に物語る證據にして栴檀は二葉より芳しとは正に同氏を適評するものに候

實に同氏は獨立獨步幾多の困難と戰ひ刻苦勉勵今日の地步を得たり然れ共同人の眞價は過去に非ずして未來に屬す。蓋し過去の經歷が將來を豫斷する最良の羅針盤なりとせば同氏の將來の發展向上も略想像に難からず候、況むや同氏は前途春秋に富む有爲の士なれば一度議政壇上の人たらんか平々凡々月並的一陣笠として埋るものに非ず必ずや天下に『鈴木』ありとの存在を明かにし驚天動地の仕事をなし貴下の御負托に背かぬ事必定と存候

夫は同氏を親しく熟知する人の何人も同感とするところ而も同氏は仁俠に富み滿身是れ血と熱の結晶にして政治家としての天才的素質は十二分に具備するものに候

小生は同氏の先天的天才を遺憾なく發揮せしめ以て將來ある同氏の前途を有意義たらしめ度敢へて貴下の尊き一票を懇望する次第に御座候　敬具

昭和七年二月十一日

平町才槌小路三十番地　阿部政右エ門

第三區有權者各位

市原病院　院長 市原卯太郎　平町田町電一一四

高久病院　院長 高久忠　平町田町電五一三

新聞擴張員募集

經驗の有無を問はず至急數名を募集す。志望者は至急本人來談あれ、最も優遇す。

平町田町　磐城通信社（電六〇三）　內 杉本

謹啓嚴寒之候各位益々御清榮之段奉大賀候。陳者最近同業吉田芳太郎氏は明雲堂の名稱の下に開業仕り候ため當院と混同せられ甚だ迷惑致し居る次第に御座候へ共同氏と當院とは全然關係無之ものに御座候右謹告候也

平驛前　明雲堂眼科醫院　新妻幸之助